

## 令和5年第4回定例会委員意見概要及び提言の方向性について

前回（12月8日）の特別委員会において、重点調査項目に関して出された各委員の意見概要は以下のとおりであり、これらの意見を総合し、委員会としての提言の方向性をまとめた。

### 重点調査項目2 地域資源ブランドの確立・発信について

#### 絵本のまち板橋の推進に向けた取組について

意見概要		提言の方向性	
①	事業の推進に向けては、評価軸を確立し、費用対効果に基づき評価することが重要であるため、区民へのアンケート等により情報収集に努めるべき。（いしだ委員・岩永委員）	1	<b>【評価と検証を踏まえた事業展開】</b> 絵本のまち板橋の推進に向けては、費用対効果を踏まえた事業評価を行うため、体系的に事業を分類した上で、評価軸を確立することが重要である。加えて、民意を的確に捉えた施策を着実に推進するため、アンケート等で積極的に情報収集に努めるとともに、既存事業の検証を適宜実施すべきである。
②	絵本のまち板橋を着実に推進するためには、関連する事業を体系的に展開し、評価する必要がある。（寺田委員・竹内委員）		
③	絵本のまち板橋関連事業は、一つひとつの事業をカテゴリーに分け、評価する必要がある。また、事業の参加者にアンケートを実施し、事業内容を検証する必要がある。（大野委員）		
④	絵本のまち板橋関連事業は、区民がどう評価しているかという視点が重要である。（寺田委員）		
⑤	絵本のまち板橋を推進するためには、長年実施している既存事業について、適宜検証を行う必要がある。（おなだか委員）		
⑥	児童・生徒、園児及び保護者には、直接出向いて周知を図る必要がある。また、書店の協力を得ながら周知拡大に努めるべき。（いしだ委員）	2	<b>【効果的な周知による認知度向上】</b> 周知については、教育・保育施設に直接出向くことが効果的であり、若者世代にはSNSを活用するなど、積極的な周知が求められる。また、中央図書館には、海外からも来館者がいることをPRするほか、絵本のまち板橋のキャラクターの作成や区主催イベント・書店・駅構内へのプロモーションブースの設置など、区の特徴や事業者との連携を生かし、多角的なアプローチを行うべきである。
⑦	認知度向上に向けた周知については、保育園、幼稚園、小学校に直接出向くほか、区主催イベントへの展示など、多角的なアプローチを行うべき。（横川委員・おなだか委員）		
⑧	若者世代に向けては、SNSを活用し、積極的な周知に努めるべき。（おなだか委員）		
⑨	絵本のまち板橋の拠点である中央図書館には、海外からも来館者がいることを踏まえ、PRを推進すべき。（しば委員）		
⑩	絵本のまち板橋の効果的な周知には、キャラクターを作成すべき。（横川委員）		
⑪	絵本のまち板橋の認知度向上に向けては、駅構内に絵本関連のプロモーションブースを設置すべき。（近藤委員）	3	<b>【区内全域での取組の必要性】</b> 絵本のまち板橋を地域に広く根付かせるには、地域図書館や公共施設での企画やイベントを積極的に開催するほか、地域の公共物に絵本関連のペイントを施すなど、区内全域を対象とした取組を推進する必要がある。また、学校においては、地域図書館への校外学習など、絵本が身近にある環境の創出を目指すべきである。
⑫	絵本のまち板橋の推進には、区内全域を対象とした事業展開が必要であるため、地域図書館や公共施設を積極的に活用すべき。（竹内委員）		
⑬	地域の公共トイレの外壁など、様々なところに絵本関連のペイントを実施し、絵本のまち板橋をアピールすべき。（しば委員）		
⑭	学校における取組として、学校行事で図書館に行くなど、絵本が身近にある環境の創出を目指すべき。（坂田委員）		

意見概要		提言の方向性	
⑮	図書館に来館せずとも楽しめるよう、動画コンテンツを拡充すべき。(近藤委員)	4	<b>【既存事業の拡充】</b> 絵本に触れる機会を増やすためには、既存事業のさらなる拡充が重要である。動画コンテンツを充実させるとともに、子育て世代に向けた取組の拡大について検討を進める必要がある。また、絵本の寄贈を改めて広く呼びかけるほか、イベントの結果やワークショップの成果物を展示することにより、絵本を読まない層に対する取組を強化すべきである。
⑯	ブックファーストに加え、ブックセカンドの実施など、子育て世代に向けた取組について検討すべき。(しば委員)		
⑰	図書館が絵本の寄贈を受け付けていることについて、絵本を読まなくなった層に向け、周知を強化すべき。(岩永委員)		
⑱	イベント・ワークショップについては、参加していない人に向け、開催結果や成果物を展示すべき。(竹内委員)		
⑲	小さな絵本館については、区取組であることが区民に分かりやすいよう、事業に統一感を持たせる必要がある。(大野委員)	5	<b>【小さな絵本館の推進】</b> 区や民間の施設内に絵本を設置した「小さな絵本館」については、区の事業であることが区民に分かりやすく伝わるよう、レイアウトやデザインなどに統一感を持たせることが重要である。事業の拡大に向けては、すくすくカード利用施設や書店などとの連携を推進するとともに、より多くの事業者が参加しやすい仕組みを構築すべきである。
⑳	小さな絵本館の拡大に向けては、すくすくカードが利用できる施設や書店との連携を進めるべき。(坂田委員)		
㉑	小さな絵本館の取組を強化するため、より多くの事業者が参加しやすい仕組みを構築する必要がある。(岩永委員)		